



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和5年4月13日) 第2号

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

73名の新生を迎えました～令和5年度入学式～

令和5年4月10日(月)に令和5年度八鹿青溪中学校入学式を行い、73名の新生を迎えました。どの生徒もキリッと引き締まった表情をしており、これから始まる中学校生活に対する強い意欲と希望を感じさせました。本校34名の教職員と148名の2・3年生は、力を合わせて新生生の中学校生活のスタートをサポートする決意しているのと同時に、新生生が1日も早く“真の中学生”になってくれることを心から期待しています。73名の新生生の皆さん、八鹿青溪中学校への入学おめでとうございます！これから一緒に頑張りましょう。



令和5年度入学式式辞

つい先日、青谿書院に行ってみました。山からの温かい風が青谿書院を優しく包み込み、春の訪れを感じさせる心地良いひとときを過ごすことができました。

そんな中、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、本日、令和5年度養父市立八鹿青溪中学校の入学式をこのように盛大に挙げていきますこと、大きな喜びとするところでございます。

さて、73名の新生生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの表情を見ると、「よし！これから頑張るぞ」といった強い気持ちが伝わってくるようです。さあ、皆さんは、今日からこの誇り高き八鹿青溪中学校の一員。そこで、私から八鹿青溪中学校の校訓について話をさせていただきたいと思えます。式場の左側を見てください。

まずは「貫徹」です。「貫徹」とは、目的や意思など、心の中に持っているものを変えることなくやり抜くこと。たとえ困難なことに出会ったとしても最後まで粘り強くやり遂げることを意味した言葉です。中学校生活の3年間には、きっといろいろなことが起きることでしょう。しかし、常に前を向いて、苦しい時にはこの「貫徹」という言葉を思い出すようにしてください。そして、頑張り抜いた時の喜びを何度も味わってほしいと思えます。

次に「慎独」です。これは、郷土の偉大な先人、池田草庵先生の教えとする言葉で、自分を見つめ、一人でもいるときでも正しい行いに努めること。つまり、誰も見ていないところでもいつも心を正しくすることを意味した言葉です。人間はややもすると、人が見ていないことをよいことに、つつい誘惑に負けてしまいそうになることがあります。そんな時には、この「慎独」という言葉を思い出すようにしてください。そして、良いことを率先してしようとする立派な中学生になってほしいと思えます。

最後に「創造」です。「創造」とは新しいものを創り出すこと、つまり、今までになかったものを自分たちの工夫により生み出すことを意味した言葉です。そして、その創り出したものは価値のあるものでないといけません。どうかこの「創造」という言葉を常に胸に抱き、皆さんの力でまた新しい八鹿青溪中学校の伝統を創ってほしいと思えます。それが、学校を発展させることにつながっていくのです。

新生生の皆さん、今私が話をした「貫徹、慎独、創造」のもと、中学校の活動のひとつひとつに、とにかく一生懸命に取り組んでください。そして、仲間と共に最高の感動を味わい、大きく成長してくれることを願います。

保護者の皆様、お子様の中学校ご入学、まことにおめでとうございます。これから大切なお子様を、この八鹿青溪中学



校でお待ちしております。きっと、学習面、生活面など、ご心配は尽きないとは思いますが、何かお悩みの際には、遠慮なく八鹿青溪中学校の教職員へご相談ください。

成人年齢が18歳に引き下げられた今、中学校生活の持つ意味というのは以前にも増して大きなものになっていることは言うまでもありません。保護者の皆様におかれましては、これまでのご経験を踏まえた的確な助言をお子様へ投げかけることにより、八鹿町、養父市、但馬、兵庫県、そして、日本の将来を担う力強い「大人」を、私たち八鹿青溪中学校の教職員とともに育ててまいります。どうぞ、よろしく願いいたします。



最後になりましたが、ご多用の中、ご臨席を賜りました米田教育長様、加藤PTA会長様に心よりお礼を申し上げます。今年度も八鹿青溪中学校の生徒のために教職員一丸となって頑張ります。そして、この八鹿の町や母校八鹿青溪中学校を愛する生徒を数多く育てていく所存です。今後とも本校に対するご指導をよろしく願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さんの中学校生活が素晴らしいものになることを祈念し、式辞といたします。

令和5年4月10日 養父市立八鹿青溪中学校長 岩浅 克友希

新入生誓いのことば ※立派な態度で誓うことができました

桜の花びらが春風に舞い、やわらかな日ざしが差す今日、私たち73名は八鹿青溪中学校に入学することができました。校長先生をはじめ諸先生方、ご来賓の皆様、先輩方、私たちのためにこのような素晴らしい入学式を挙げていただき、ありがとうございます。私たちは、この八鹿青溪中学校で、多くの仲間とともに学ぶことができるのを楽しみにしてきました。いよいよ私たちの中学校生活が始まります。



中学校生活では、挨拶や掃除など当たり前のことを当たり前にすることが大切だと聞きました。八鹿青溪中学校の生徒として規則を守り、自主的に行動していきます。中学校生活の3年間は、自分の人生を切り拓く大切な期間です。充実させるために、様々なことに挑戦し、学んでいくことが大切だと思います。苦しくても決して逃げず、前向きに進んでいきます。

中学校で新たに始まる部活動では、先輩の皆さんのご指導を受けながら一生懸命練習します。目標を持ち、仲間とともに一杯頑張ります。また、共に学び、過ごす中で協力し、信頼し、磨きあう仲間をたくさん作ります。校長先生をはじめ、先生方、今日からお世話になります。ご指導の程よろしく願います。

そして、先輩方。部活動や学校生活で戸惑うことがたくさんあり、ご迷惑をおかけすることと思いますが、先輩方を目標に頑張ります。皆さまどうぞよろしく願います。

今日から八鹿青溪中学校の一員としての誇りを持ち、「貫徹、慎独、創造」の校訓のもと、希望に満ちた今の気持ちを忘れず、仲間とともに一歩ずつ成長していくことを約束し、誓いの言葉といたします。

令和5年4月10日 新入生代表 日下部 栞那

令和5年度八鹿青溪中学校生徒数・学級数

今年度は全校生221名でスタートします。「～ひとりひとりが輝き「日本一光り輝く学校」に～」をめざして生徒と教職員が一丸となって頑張ります。八鹿青溪中学校へのご支援・ご協力をどうぞよろしく願います。

	通常学級			特別支援学級		計
	男子	女子	学級数	学習室1	学習室2	
1年	30	40	2		3	73
2年	34	41	2	3	1	79
3年	28	39	2	1	1	69
計	92	120	6	4	5	221

※お知らせ…生徒・教職員の健康面を考慮して、完全下校時刻の最長を午後5時45分に早めます。ご了承ください。